

全シ連ニュース

THE JAPAN SENIOR ENSEMBLES ASSOCIATION

韓国への演奏旅行の報告

＜アゼリア合奏団inシニア 小泉具之＞

私たちアゼリア合奏団inシニアの17名は昨年7月2日～5日、3泊4日の旅程で韓国の富川市（プチョン）を訪問しました。

まず訪問に至った経緯について説明します。川崎市とプチョン市は1996年に友好親善都市を締結し文化、体育、地方自治体、経済界、市職員の相互派遣等の分野で交流事業を行っています。川崎市には韓半島出身者の子、孫が8,000余名在住し、コリアンタウンと呼ばれる街並みが形成されているほどです。そのような関係で2015年6月よりプチョン市より川崎市の国際交流課に一年間派遣されたKさんという方がテナーSaxの愛好家で当団に9ヶ月所属されましたが、彼の帰国後も交流が続き、今回の友好親善旅行が自主企画された次第です。



今回参加した有志17名の内訳は指揮兼テナーSax1名、Vn3名、Gt2名、ウクレレ2名、Pf1名、オカリナ2名、ボーカル2名、記録広報1名です。

旅程は7月2日羽田発、金浦着、プチョン市内の3つの博物館（韓国教育博物館、韓国漫画博物館、欧州陶磁器博物館）を見学後、プチョン市役所を訪問、川崎市長からの親書を預かりましたが、プチョン市長は出張中にて不在でしたので代わりに行政局長などが面談して下さい、川崎市の高齢化対策や社会的弱者への福祉対策について質問されました。プチョン市でも同様の問題を抱えているようです。

7月3日は午前中は保育園児と保育士約300名に約40分の慰問演奏、児童向けに日本のアニメソングや韓国の童謡を12曲演奏。午後は高齢者福祉会館にて利用者180名位の前で約60分間、富川市民の歌、韓国の民謡、歌謡曲、日本の童謡、歌謡曲、などを12曲演奏。リクエストに「夕やけこやけ」を演奏しました。この2ヶ所の司会は当団員が片言で担当し大変受け友好親善のムードを盛り上げました。7月4日と5日の午前中はソウル市内見学。午後、金浦発、羽田着で滞りなく解散となりました。

今回の訪問は相互の国際友好親善のために、又、日本にこのような中高年の楽しいアンサンブルがあることを知って頂き現地にPRする上で大変有意義だったと存じます。

なお、今回の参加費用は1人当たり87,000円、川崎市より民間交流団体交流事業補助金を頂きました。旅行会社はJTBにお願いしました。

売っています！新刊書のお知らせ

我孫子・牛久SEでCIを担当している谷岡憲隆氏が出版された、ヤバい宇宙図鑑（青春出版社・1,200円＋税）は宇宙と人工衛星の話の子供向けにまんがチックに書かれていますが、大変面白くアマゾン発表のランキングで航空工学、宇宙工学関係の単行本46冊の中でトップです。ぜひ、一読下さい。

お求めの方は電話090-1113-0188谷岡氏に相談下さい。

